

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成24年度第4回)

議事録

2012年11月13日(火)開催

時間	15:00～17:00	場所	地盤工学会 3F 会議室
桑野委員長		亀村 オフ・ザ・ハール	工藤委員兼幹事
浅田委員		岩瀬委員	× 杉本委員
山口委員		野崎委員	西岡委員

: 出席 × : 欠席 : 未定

議事録担当者の選出

桑野(24-2) 工藤(24-3) 西岡(23-4) 浅田 岩瀬 杉本
野崎 山口

前回議事録の確認 了承

【別紙 1】

【議題】

【報告事項】

1. 会員・支部の動き(桑野委員長)

【別紙 2】

- ・2013年度予算案は、ダイバーシティ委員会分は2012年度とほぼ同額の1次案で会員支部は通過した。ただし、学会全体で今後3年間毎年10%減の方針であり、2次案以降で削減される可能性がある。
- ・会員支部としては、経費削減のため、メール審議中心とするなど、会議費(交通費)の圧縮や、委員会・WGの整理統合に取り組んでいる。
- ・ダイバーシティ減免制度は今年度までの時限措置であり、来年度も継続するために現時点でなんらかの評価を示す必要があった。アンケートは間に合わないので、まずは委員会として「効果有り」という評価とし、後日アンケート結果で定量的な結果を報告するという形とした。
- ・会員支部からのシニア会員活動の活性化策の宿題について、シニア会員に講習会等の企画から講師まで実施してもらおうという考えを会員支部に報告したところ、早急に具体化するようとの指示有り(今回の審議事項)。ただし、学会収入の厳しい情勢を勘案し安易に会費減免につなげないようとの制約有り。

2. 来年度一次予算について(工藤委員)

【別紙 3】

- ・今年の1次案とほぼ同様
- ・2次案で削減要請が来た場合、「女子中高生夏の学校」は、学会全体の広報活動として広報委員会や各支部の広報活動を含めて、学会全体で調整するように回答する。
- ・交通費節減策としてのweb会議については、一度顔を合わせたメンバーであれば、有効に使える可能性はある。移動する本人の負担軽減にも繋がる。まずは、富山大会の準備として雪割草の会(北陸支部女性の会)との調整で試行してみることとする。

3. 土木学会(出版企画含む)(工藤委員、野崎委員)

- ・土木学会側から、今年はランチカフェにリソースを重点配分したため、例年11月に実施しているダイバーシティフォーラムは中止とした。
- ・土木学会の出版は年内を目処に進みつつある。土木学会100周年記念出版の一環となる可能性がある。

4. 男女共同参画学協会連絡会関連報告(山口委員)

【別紙 4】

- ・大規模アンケートの回答要請メール等を配信した。

- ・現状の回答状況は問い合わせ中。
メールニュースの「締め切り間近」の欄で再度案内する。HPのトップページへも掲載を依頼（桑野委員長から広報委員長へ依頼）。バナーでなければ容易・早急に対応していただけるはず。男性会員には、男女共同参画の問題は「自分には関係ない」と思われやすいので、メールやHPでは「男性会員も積極的に回答ください」という点を強調する。
サポーターメーリングリストにも回答要請メールを出す（杉本委員）

【審議事項】

1．若手座談会

【別紙 5】

- ・開催日程はH25年1月23(水)で確定とする。末岡会長の挨拶・懇親会参加を打診済み。
- ・参加人数を30人程度（多少増えてもOK）。人員構成比を実務者と研究者系をほぼ同数とする。実務者系は学会員でなくてもよい。メンバーが不足した場合には、学生会員にも声掛けするが、博士課程（あるいは博士課程進学内定者）を対象とする。
- ・委員の知り合いを中心に、11月中に委員会選定メンバーを確保する。
- ・公募文案を作成し、学会誌、サポーター、メールニュース、HPで周知する（浅田委員）
- ・委員会選定メンバーには交通費を支給し、本人が必要であれば委嘱状等の事務手続きを行う。公募メンバーには交通費無し、委嘱状対応も無しとする。
- ・参加メンバーには、事前に「地盤工学会の魅力向上策を何か一つ考えておいてください」とお願いしておく。
- ・委員への当日の担当の割り振りは次回委員会で決める。

2．来年度富山大会の準備

- ・雪割草メンバーと調整を進める。
- ・担当者は、山口委員、野崎委員とする。

3．減免制度評価アンケート

【別紙 6】

- ・Q4に「活動しなかった」を追加する
- ・Q8に「ダイバーシティ推進のために地盤工学会に望むことは何か？」を追加する。
- ・無料アンケートシステム（Mr.アンケート）を使うこととしてよい
- ・2重投稿対策は不要とする
- ・締め切りは案内から2週間後とする
上記の条件で早急にアンケートシステムを構築すること（西岡委員）
アンケート回答依頼のメールを減免対象者に送信する。（文面は工藤幹事）

4．シニア会員活性化策について（会員支部からの宿題）

- ・学会として団塊世代の退職に伴う急激な会員減少に対する危機感が強い。
- ・前回の本委員会で提案されたのは、「シニア会員が講習会等を自ら企画して講演するような活動を行えば、会費を減免する」という考え方であった。
- ・会員支部からは、「安易に会費減免とつなげないように」という話が出ている。
- ・「会費減免」とつなげないのであれば、「シニア主体で講習会を企画する」というシステムについては、本委員会ではなく講習会を管轄する委員会で別途考えるべきではないか。
- ・実際のシニア会員の学会に対するニーズが何かをアンケート等によく見極めないと意味が無いのではないか。「再就職先の斡旋」や「シニア同士の繋がり（例：学会会議室をサロンとして開放）」など、様々なものが考えられる。
- ・シニア会員をどのように活性化するかという議論であれば、本委員会にシニア会員を呼んで議論する価値はある。
当面は、ダイバーシティ委員会内にシニア会員活性化WGを立ち上げるということで、会員支部に回答する。

5．次回開催日の確認：

1月15日(火)

3月4日(月)

(いずれも 15:00 ~ 17:00)